

ご当地ヒーロー「東北英雄阿弓流為」

映画完成へ資金援助を

三沢市のアクションクラブ「隼風」(柏崎博志代表)が企画するご当地ヒーロー「東北英雄阿弓流為」の短編自主映画を完成させるため、柏崎さんと製作協力している八戸工業大の学生らが撮影に必要な資金をインターネットのクラウドファンディングで募っている。期間は20日まで、目標金額は50万円。16日現在、支援金は目標の6割ほど集まっている。柏崎さんは「まずは映画を上映して、テレビ放送に飛躍させるのが目標。青森から映像作品が作れることを証明したい」と語った。(船渡拓)

八工大生らクラウドファンディング



短編映画の完成を目指して精力的に活動する八戸工業大生とスタッフら＝9月下旬、八戸市内

「阿弓流為」は柏崎さんが発案したヒーローで、平安時代初期、朝廷の東北侵攻に抵抗した蝦夷のリーダーがモチーフ。映像製作を志す若者に活躍の機会をつくり、地域を盛り上げようと考えた。

一方、特撮などの映像製作に取り組む八戸工業大の学生らは空想科学研究会を設立。同研究会の代表を務める泉山英俊さんと柏崎さんが会員制交流サイト(SNS)を通じて知り合い、合同で短編映画を製作することになった。

映画の撮影を巡っては、今年5月に八戸市の館鼻岸

壁で映画の予告編を撮影後、資金難に陥り、6月に入ってから撮影を中断していた。予告編はインターネット動画配信サイト「YouTube」で公開している。現在はイベントなどのヒーローショーに出演しながら知名度向上を図っている。完成した映画は、八戸市や三沢市などで来春公開する予定で、泉山さんは「応援してくれる人たちのためにも必ず完成させたい」と思いを強くしている。

クラウドファンディングへの出資は、「CAMPFIRE」(アドレス<https://camp-fire.jp/projects/view/152083>)から可能。